

業務用

浸透性KSボンド(工法)の種類と仕様

■試験温度: 23℃ ※表に示す試験結果は、試験温度23℃、供試体養生は23℃7日間の条件で行ったものです。
※付着強さは社内品質管理値であり、現場施工品質管理値とは異なります。

項目	種類	浸透性KSボンド(工法)		備考
		浸透性KSプライマー	KSボンド(打継用) ^{※1}	
性状と物性		冬用(被着体温度: 5℃~20℃)		
		春秋用(被着体温度: 15℃~30℃)		
		夏用(被着体温度: 25℃~40℃)		
		性状と物性		
外観	主剤	無色液状	白色ペースト状	異物混入無し
	硬化剤	無色液状	青色液状	異物混入無し
混合比(主剤:硬化剤)		10:3	5:1	重量比
硬化物比重		1.20±0.20	1.40±0.20	JIS K 7112
圧縮強さ		50 N/mm ² 以上		JIS K 7181
圧縮弾性係数		1000 N/mm ² 以上		JIS K 7181
曲げ強さ		35 N/mm ² 以上		JIS K 7171
引張剪断強さ		10 N/mm ² 以上		JIS K 6850
コンクリート付着強さ		1.6 N/mm ² 以上または母材破壊		JIS A 6909 (JIS 412)
標準塗布量(人力塗布)		0.5 kg/m ² 以上	0.9 kg/m ² ^{※2}	
		合計1.4 kg/m ²		

※1: KSボンドの詳細は、KSボンドのカタログを参照願います。 ※2: KSボンドを単体使用する場合の標準塗布量は1.4kg/m²です。

浸透性KSプライマー



■外観【240mm×240mm×330mm(h)】
■内容量【主剤:10kg, 硬化剤:3kg】

KSボンド(打継用)



■外観【240mm×240mm×330mm(h)】
■内容量【主剤:10kg, 硬化剤:2kg】

取り扱いに関する注意事項

施工上の注意

- ▶気温が5℃未満の場合には、別途対策を検討して効果を確認の上で使用下さい。
- ▶打継ぎ間隔時間は季節グレード、温度等によって異なります。必ず確認してから施工して下さい。
- ▶被着体表面の粉塵やゴミ等は必ず取り除いてから浸透性KSプライマーを塗布して下さい。
- ▶主剤・硬化剤の缶は防災シート等で覆い、直射日光を避けて高温にならないようにして下さい。
- ▶混合した接着剤は、しばらく放置すると硬化反応により高温となるため(発煙する場合もありうる)、速やかに塗布するようにして下さい。
- ▶混合した接着剤は、使い切るようにして下さい。
- ▶降雨時には使用しないで下さい。
- ▶被着体表面が濡れている場合には、スポンジ、ウエス等で水分を十分にふき取ってから塗布して下さい。
- ▶セメントペースト、セメントミルク等骨材が入っていないものには使用できません。
- ▶アルミ、ステンレス、メッキされた鋼材には付着しません。

使用上の注意

- ▶火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ▶購入の際にはお手数ですが同封の譲受書を販売会社に返信して下さい。
- ▶目や皮膚への接触を防ぐため、保護メガネ、保護手袋などの保護具を着用して下さい。
- ▶目に入った場合には多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ▶皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い流して下さい。
- ▶誤飲のないようまた盗難を避けるために、「医薬用外劇物」であることを明示(白い紙に赤字)し、鍵のある場所に保管し、日別の入出管理簿で保管数量を管理して下さい。保管は常温または冷暗所(2℃以上)とし、降雨や直射日光が当たるような場所での保管は行わないで下さい。
- ▶試験日(試験成績表に記載の日)から6ヶ月以内に御使用下さい。

ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するためのもの、いわゆる「参考値」であり、個別契約等で合意された規格の規定事項として明記されたもの以外は、保障を意味するものではありません。本資料に記載されている事項の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、各担当部署にお問合わせ下さい。本資料に記載された内容の無断転載や複製はご遠慮下さい。

■製造 **鹿島道路株式会社** 〒112-8566 東京都文京区後楽1-7-27 Tel.03-5802-8011 E-mail. kr_sales@kajimaro.co.jp

■販売 **株式会社 ケミカル工事** 〒114-0014 東京都北区田端1-21-8 NSKビル6階 Tel.03-5834-7550 Fax.03-3827-4777

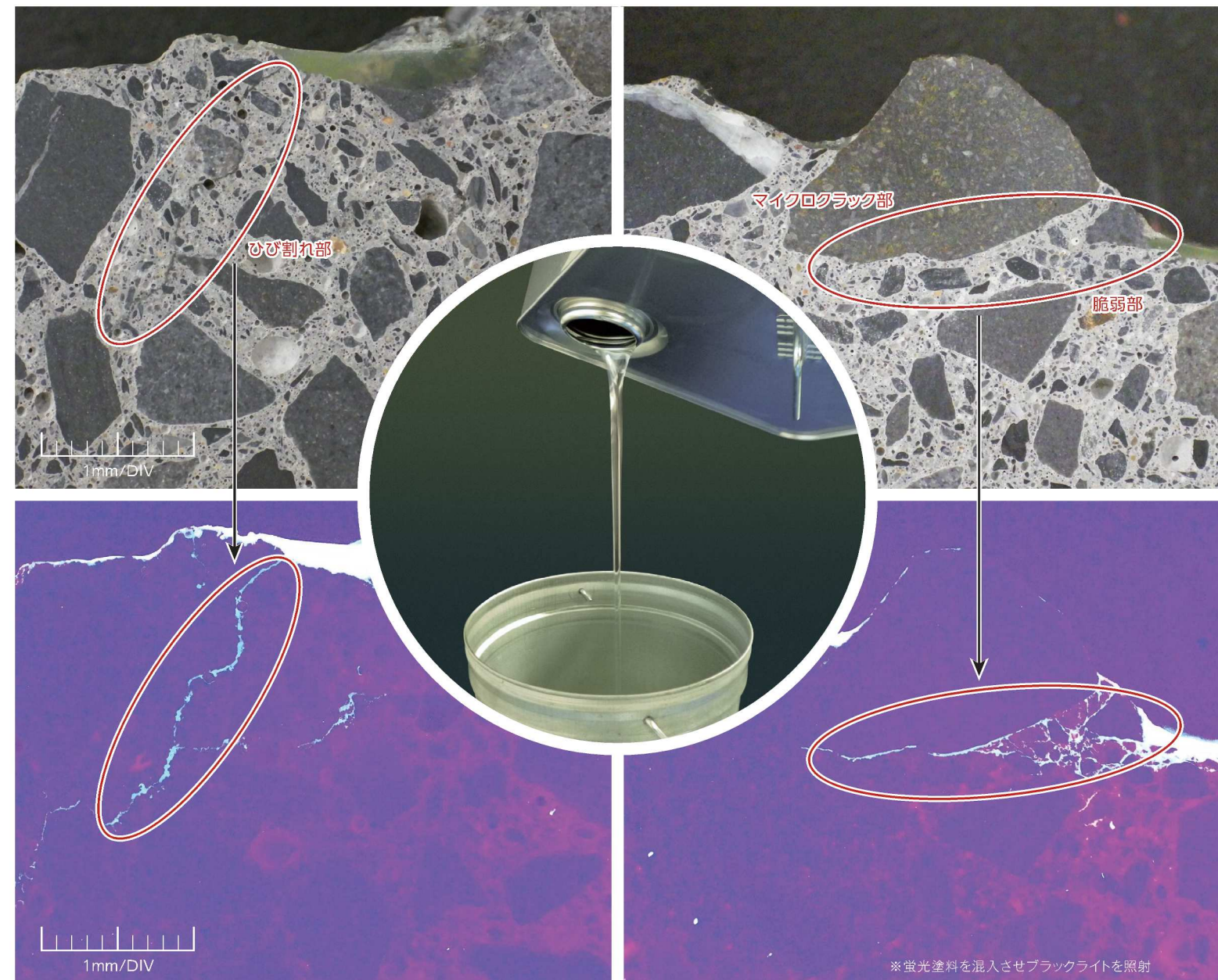
日本海上工事株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-27 後楽鹿島ビル7階 Tel.03-5802-6351 Fax.03-5802-6355

浸透性接着剤工法用プライマー

浸透性KSプライマー

【適用】

※道路橋コンクリート床版およびコンクリート舗装の補修工事

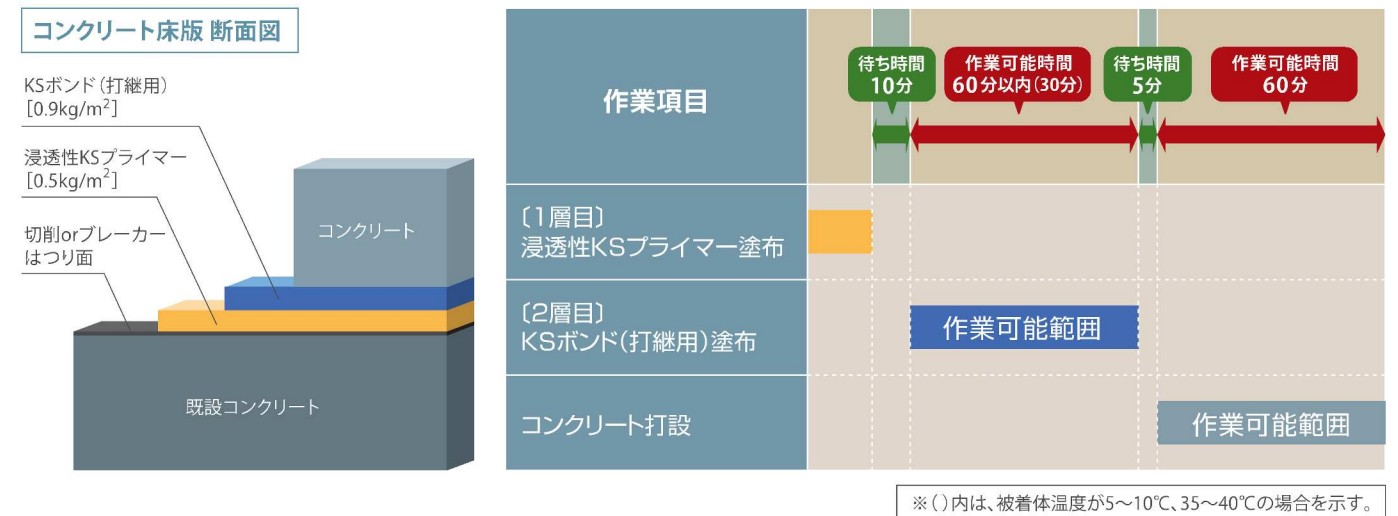


※蛍光塗料を混入させブラックライトを照射

左右ともに、はつり作業によって生じたひび割れに浸透している浸透性KSプライマーの事例(光っている部分がプライマー)

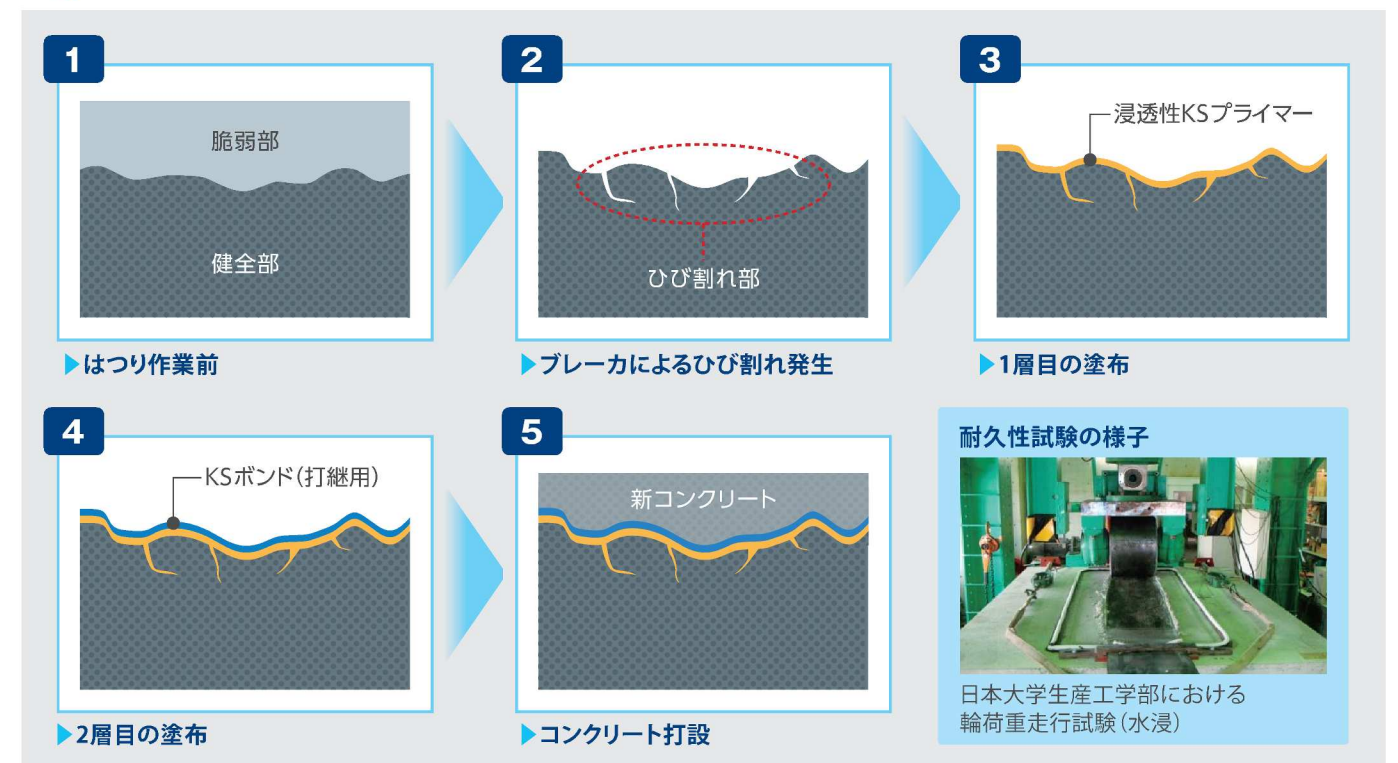
コンクリート床版のはつり作業においては微細なひび割れが発生し、耐久性が阻害されます。浸透性KSプライマーとは、この微細なひび割れに浸透して基盤コンクリートのゆるみや脆弱部の強化を図る浸透性の高耐久型エポキシ系接着材です。フレッシュコンクリート打継用の2層目接着材(KSボンド)と組み合わせることで、基盤コンクリートにひび割れを内在している場合でも安定した付着性能を確保できます(浸透性能と付着性能の両立)。

作業可能時間



- 浸透性KSプライマーの主剤/硬化剤を混合比(10/3:重量)で配合して、均一になるように十分に攪拌します。
- 切削やブレードのはつり面に浸透性KSプライマー(塗布量:0.5kg/m²以上)を刷毛などで塗布します。
- KSボンド(打継用)の主剤/硬化剤を混合比(5/1:重量)で配合して、均一になるように十分に攪拌します。
- 浸透性KSプライマーを塗布後、**10分待ち時間**をおき**60分以内(10~35℃)**もしくは**30分以内(5~10℃、35~40℃)**の範囲を目安とし、浸透性KSプライマーが硬化する前にKSボンド(打継用)を0.9kg/m²塗布します。
- コンクリートの打設はKSボンド(打継用)を塗布してから**5分待ち時間**をおき、**60分以内**の範囲を目安に行ってください。
- コンクリート打設後は、コンクリート強度および接着強度が十分発現するまで養生して下さい。

施工手順



道路橋コンクリート床版は、輪荷重の繰り返し载荷を直接受ける部材であり、疲労による変状が生じます。積雪寒冷地においては、この疲労に加えて、さらに塩害や凍結融解など複合的な劣化による変状が発生しており、このような変状に対する補修・補強は床版上面からの対策が有効です。従来、劣化したコンクリート上面の撤去には、切削機や人力ブレードが用いられていますが、健全なコンクリート部分にも新たに微細ひび割れなどの脆弱部が生じ、脆弱部を起点とした再劣化が生じる場合があります。

浸透性KSボンド(工法)の特徴(浸透性KSプライマー+KSボンド(打継用))

プライマー

1層目の浸透性KSプライマーは毛細管現象等により圧力をかけずに、**コンクリートの微細なひび割れ(マイクロクラック)**に充填されます。

高強度

無機系材料の特性を考慮した調合技術とエポキシ樹脂特有の**強靱な接着性能により、被着体と一体化**します。

超速硬コンクリートの開放時間に合わせた**接着剤施工(10℃以上)**が可能です。

硬化時間

温水負荷(温度50℃,10日間)を与えて480万回の繰り返し引張試験(水浸)を実施した後においても**付着強度が低下しない**ことを確認しております。(NEXCO 試験法434-2010)

耐水・耐熱性

耐疲労性

日本大学生産工学部における輪荷重走行試験(水浸)によって、**付着強度の低下がない**ことを確認しています。

施工温度範囲

幅広い温度(**5~40℃**)での施工に対応しています。

施工状況

